

誰もが安心して病院にかかれるまちづくりを 舟木けんじ市議6月議会一般質問



一般質問に立つ舟木議員

舟木けんじ市議は6月議会
で誰もが安心して病院にかか
れるまちづくりについて質問
しましたので報告します。

舟木市議は、「経済的な理
由で必要な医療を受けること
のできない人をつくらないま
ちづくりは行政の責任」「し

かし現実には、医療費が払えず
受診を控え、病気を重篤化さ
せたり、命まで落としてしまっ
たりするケースも起きている」
と指摘。無料定額診療の利用
者の調査結果を紹介し、誰も
が安心して病院にかかれるま
ちづくりとして、①無料低額
診療の必要性、②生活保護の
捕捉率の向上、③国保法第44
条外面制度の活用、④無料低
額診療への公的支援、⑤医療
費支援事業の広報の仕方につ
いて市の見解を質しました。

松原正健康福祉部長は、①
「無低診は生活困窮者の受け
皿となつていて」②「無低診
を実施している総合病院と生
活福祉課で連携体制を維持し
速やかに生活保護を行うよう
努めていく」③「国保法第44
条の減免の実績はないが、本
市の緩和基準で一部免除して
いる」④「それぞれの医療機
関で総合的に判断されるもの」
「無低診の対象外の院外処方
調剤費への支援は国難」⑤
「無低診の周知を図るため、
『くらし相談支援センター』
のリーフレットの更新時期に
掲載を検討したい」と答弁し
ました。

子ども・高齢者の命まもる猛暑対策を たちばなふみ市議6月議会一般質問①



一問一答方式で質問する
たちばな議員

たちばなふみ市議は6月議
会で①地方自治法改正、②原
発は動かさない、③命を守る猛
暑対策、④子どもを取り巻く
環境、⑤中海周遊サイクリン
グ安全をテーマに質問しま
した。③について報告します。
たちばな市議は「先週から

すでに連日30度を超す暑さ。
気象庁は昨年の猛暑を上回る、
観測史上1位の暑さになる可
能性があるとしている。市民
の命を守るために、いっそう
の猛暑対策を」と訴え、(1)鳥
取県では公共施設など、約3
00か所の公共施設や店舗な
どが涼しさを共有する「クー
ルシェア・スポット」に登録
している。米子市では71か所。
松江市の取組は、(2)学校生
活や部活動等で、熱中症警戒
アラートが出た際は子どもた
ちにエアコン下での活動に切
り替えるよう適切な指導を。
全国では体育館へのエアコン

設置が進んでいる。「体育館
での活動がづらい」と子ども
たちや教職員から声が寄せら
れている。子どもや教職員の
命と健康を守るため、市とし
て取組を2点を質しました。

余村公彦環境エネルギー部
長は、県が取り組む「しまエ
コスポット」に市内19カ所が
登録しており、特別警戒アラ
ートが出た際に利用する「クー
リングシェルター」の指定に
も取り組むと答えました。

藤原雅輝副教育長は、体育
館のエアコン設置について
「全ての中核市に対し、屋内
運動場の空調設備の状況につ
いて調査依頼している。その
結果を踏まえて、エアコン設
置についての方向性を検討し
たい」と答えました。

若い人も高齢者も 安心してできる年金制度を 年金者組合東部支部が総会開く



総会で挨拶する橋委員長

6月8日、島根県民会館
で年金者組合東部支部の総会
が開かれました。今年度の年
金改定で支給額は増額となり

ましたが、物価の上昇に比べ
ると0.5%下回りました。
この12年間で実質7.8%の
引き下げです。また医療や介
護の保険料、自己負担分は引
き上げられ生活にも大きな影
響が出ています。

年金裁判では、12月に兵庫
県の事案が最高裁で不当判決
が出されました。年金で生活
ができない実態や女性の低年
金も裁判では明らかに、
地裁、高裁で認めつつも政府
の裁量権の範囲として私たち
の訴えを退けています。

こうした年金の実態を変え、
若い人たちも高齢者も安心で
きる年金制度にしていくこと、
また、この実態を私たちの周
りの人たちに広め、仲間を増
やす運動を推し進めていく方
針を総会で採択しました。

裁判はまだ続いており、年
金支給日行動を続けていくこ
と、最低保障年金制度の学習、
女性の低年金をさらに苦しい
遺族年金の制度についても
学習し、改善するための運動
の提起など、多くの課題を確
認しました。委員長に橋祥朗
氏、副委員長に松本都子氏、
書記長に近藤修氏、書記次長
山崎満広氏など執行委員を承
認し総会は終わりました。

(寄稿) 年金者組合東部支部
書記長 近藤 修 氏

学校トイレに生理用品を！ 新日本婦人の会が市教委と懇談



要書と、各学校に配布中の生理
用品見本を手渡す成瀬事務局長と
新婦人の皆さん、たちばな市議

6月13日、新日本婦人の会
松江支部・学校福祉を考える
会(以下新婦人)は、学校ト
イレに生理用品の常備を求め

て、松江市教育委員会学校教
育課と懇談しました。

新婦人は一昨年9月から6
つの小中学校の協力で「学校
トイレに生理用品を『プロジェ
クト』として生理用品を寄付
し、保護者や教職員、児童生
徒にアンケートを行っていま
す。その結果を紹介し、①松
江市立学校の一か所以上のト
イレに生理用品を配置するこ
と、そのための予算措置、②
生理用品設置の意義を性教育
と一体に学校全体で取り組む
こと、の2点を要望しました。

成瀬事務局長は「私共の試
算では松江全市小中学校に20
万円の予算で実施できる、学
校トイレ一か所から、ぜひ実
施を」と求めました。「学校
トイレに生理用品を『プロジェ
クト』は、今年も市内の小中
学校へ生理用品を届けていま
す。懇談にはたちばなふみ市
議も同席しました。